

道路形状別では、交差点内とその付近が死亡事故の半数近くを占める

死亡事故件数を道路形状別にみると、交差点内が876件（33.7%）、交差点付近が306件（11.8%）を占め、交差点内と交差点付近を合わせると45.5%と全体の半数近くを占めています。交差点内について信号機の有無別でみると、ほぼ同数となっています（図5）。

交差点とその付近は、事故が発生しやすい場所ですので、交通状況に十分目を配り、できるかぎり安全な速度と方法で走行しましょう。

法令違反別では、「運転操作不適」が前年より増加している

原付以上の運転者が第1当事者となった死亡事故を法令違反別にみると、「漫然運転」が336件（14.5%）で最も多く、次いで「運転操作不適」307件（13.2%）、「脇見運転」272件（11.7%）、となっています（図6）。

前年に比べて特に増加しているのは、「運転操作不適」（43件増）です。「運転操作不適」とは、急ハンドルや急ブレーキ、ペダルの踏み間違いなど不適切な運転操作を言います。速度を出し過ぎないようにするとともに、できるだけ先の危険を読んで急ハンドルや急ブレーキの必要がない運転を心がけましょう。また、ペダルの踏み間違いは、あわてているときや慣れない車に乗ったときに起こりやすいと言われていいますので注意しましょう。

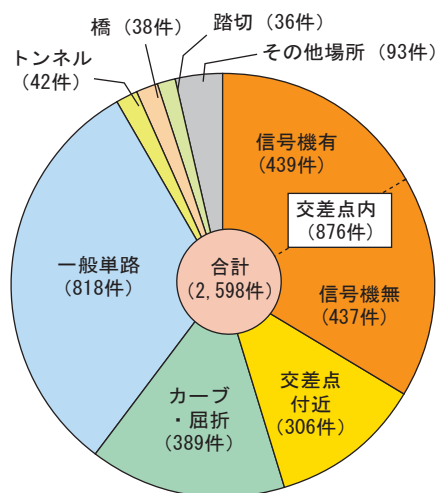


図5 道路形状別死亡事故件数 (令和6年)

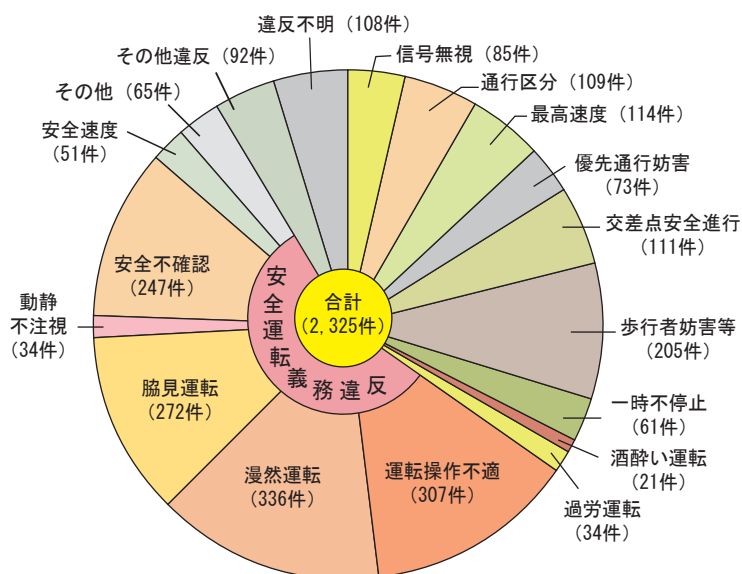


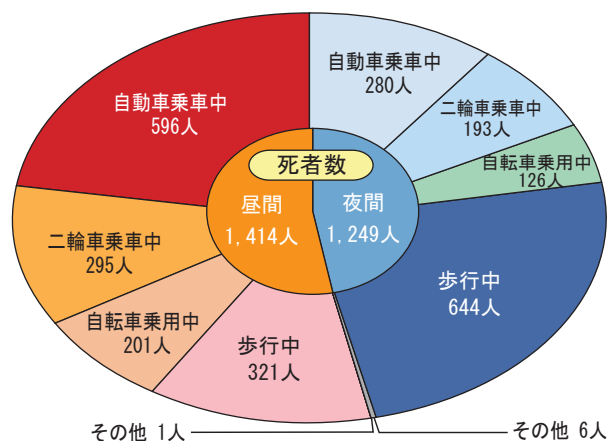
図6 原付以上運転者(第1当事者)の法令違反別死亡事故件数 (令和6年)

※ 昼夜別の死者数では、夜間の歩行中の死者数がほぼ4分の1を占める

死者数を昼夜別にみると、昼間が1,414人（53.1%）、夜間は1,249人（46.9%）で、昼間ほうが多くなっています。

昼夜別・状態別でみると、昼間は自動車乗車中が596人（22.4%）で最も多いのに対して、夜間は歩行中が644人（24.2%）で最も多く全死者数のほぼ4分の1を占めています（図7）。

夜間は、歩行者の発見が遅れやすくなりますので、早めにヘッドライトを点灯するとともに、昼間よりも速度を落して運転しましょう。



※「昼間」とは日の出から日没まで、「夜間」とは日没から日の出までをいいます。

図7 昼夜別の状態別死者数 (令和6年)

「お問い合わせ先」